

教育学・心理学	【代表的な研究テーマ】
keyword	□ 教育実習支援室の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育実習 ■ 教員採用試験 	<p style="text-align: center;">課題解決に役立つシーズの説明</p> <p>教職という仕事に夢をもっている学生が、教員として採用され、一人の教員として、子どもたちと明るく、元気に生活できるため、基礎的な力を身につけるための支援をしていく。</p>
	<p>1. 「教育実習支援室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学は、「高度の専門職業人の専門教育機能の充実」の取り組みを進めている。2021年(平成24年)より、教育実習支援室が設置され、「高度な専門性と実践力を有した、即戦力教員の養成」をめざして、指導・支援に取り組んでいる。 <p>2. 「教育実習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学では、教育学部としての使命である教員養成の学習を1回生から経験させている。そのことで、児童・生徒への関わり方を段階的に学ぶことができる。また、学生ではなく社会人である「先生」としての自覚を養っている。
<p style="text-align: center;">水野 裕美 Mizuno Hiromi</p>	
<p style="text-align: center;">教育学部 特任教授</p>	
<p>【プロフィール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野 <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習 ・保健体育科 ●略歴 <ul style="list-style-type: none"> ・1983年(昭和58年) 滋賀大学教育学部卒業 ・1983年(昭和58年)～ 守山市・草津市内 小学校教諭 ・1997年(平成9年) 滋賀大学教育学部大学院 教育学研究科学生 ・1998年(平成10年) 滋賀大学教育学部大学院 教育学研究科修士課程 修了 ・1999年(平成11年)～ 草津市内小学校教諭 ・2006年(平成18年)～ 草津市内小学校教頭 ・2012年(平成24年)～ 栗東市内小学校校長 ・2019年(平成31年)～ 滋賀大学教育学部 特任教授 	<p>① 「1回生観察実習」</p> <p>1回生では、8月に事前指導で、授業の見方などを学ぶ。9月以降に、特別支援学校、幼稚園、小学校、中学校に分かれて、実際の教育現場での授業や児童・生徒、現場の先生の様子を学んでくる。</p> <p>② 「2回生交流実習」</p> <p>2回生では、7月から「実習基礎」という講義を設定して、特別支援学校、幼稚園、小学校、中学校に分かれて、指導案作り、模擬授業の実施を通して、授業作りを学んでいく。</p> <p>9月から2月の間に、3回生で学ぶ教育実習校へ行き、実際の教育現場での授業や児童・生徒、現場の先生の様子を学んでくる。</p> <p>③ 「3回生教育実習」</p> <p>3回生では、本格的に教育実習を行う。</p> <p>第1ステージとして、6月に2週間の実習を行う中で、初めての授業を体験する。「児童観察」「授業作り」「学級集団作り」の基礎を学ぶ。</p> <p>中間指導を行うことで、第2、3ステージに向かうための、課題発見や準備を行う。</p> <p>第2、3ステージは、9月から11月の間で、学校ごとに実施期は異なるが、授業経験を増やし、研究授業を行い、多くの人からの意見をもらい自分の力とする。また、半日の学級担任を経験することで、より実践的な態度を身につける。</p> <p>実習終了後に、事後指導を行う。教師になるまでの、最後の実習となることもあり、自分の課題を明確にする。</p> <p>④ 「母校実習」</p> <p>4回生では、個人の希望により、出身学校での母校実習を行い、3回生までとは違う校種での実習経験を積む。</p> <p>⑤ 「教員採用試験対策」</p> <p>小論文指導、面接指導、模擬授業指導等を行う。</p> <p style="text-align: center;">企業・自治体へのメッセージ</p> <p>教員からの進路変更をした人材の受け入れのため、企業で必要な人材や資質とは何なのかを知り、学生に適した進路指導に活かしたい。</p>